

当初 変更

工事執行機関 61010 議会事務局総務課

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	令和5年11月30日
工事番号	23-61010-0001	工事名	福島県議会議場等改修工事	着工	令和5年11月30日
入札執行年月日	令和5年11月9日、10日	発注種別	03 建築工事	完成	令和7年11月28日
審議番号	公所	本庁	000000		
路線・河川名	本庁舎（県議会議場 外）			予定価格	384,670,000
工事箇所 自	福島市杉妻町地内			最低制限価格	
至				調査基準価格	347,897,220
工事概要	県庁本庁舎の改修（議場（天井部を除く）約640㎡、議会スペース（3階 外）約1,700㎡）			(予定価格に占める法定福利費概算額)	

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額（契約額）
100000088 菅野建設（株）	福島市新町6-33		
	(1) 360,000,000	(2) 344,000,000	378,400,000
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

総合評価方式評価結果

工事種別 **建築工事**

工事執行権者 **議会事務局総務課長**

工事番号	23-61010-0001	工事名	福島県議会議場等改修工事														予定価格(円)	349,700,000				工期	730日間		開札予定日	令和5年11月9日												
路線河川名	本庁舎(県議会議場外)		工事箇所	福島市杉妻町地内										工事の概要	県庁本庁舎の改修(議場(天井部を除く)約640㎡、議会スペース(3階外)約1,700㎡)										技術審査日	令和5年11月6日												
地域要件	県内			入札参加者の所在地等(消防団以外)の評価対象地域										県北建設事務所管内										消防団への継続加入状況の評価対象地域		県北建設事務所管内												
入札参加者 (入札参加者の所在地(契約する本店・支店・営業所))	価格以外の評価項目及び点数																						施工計画適切性 (様式第9号)	加算点 (a)	技術提案の採否				品質確保等の 加算点 (c)	加算点 (a) + 加算点 (b) + 加算点 (c)								
	企業の技術力 (様式第6号(特別簡易型は様式第11号))										配置予定技術者の技術力 (様式第7号(特別簡易型は様式第11号))				企業の地域社会に対する貢献度 (様式第8号(特別簡易型は様式第11号))										技術提案 【標準型のみ】 (様式第10号)													
	施工能力	工事成績	優良工事表彰	品質管理能力	技術者確保数		週休2日確保工事	ICT活用工事	建設システム	保くしまM E資格	技術者	施工能力	工事成績	優良工事表彰	障がい者の雇用	安全管理	環境への配慮	県内業者活用	働く女性応援	仕事と生活	新分野進出	所健康経営優良事業				若手・女性技術者	同一市町村実績	地域要件等で評価対象地域が異なる項目										
					指定人数	技能士																						資格保有年数			継続教育	協定締結は	①	②	③	④		
地域密着型		2.0点	1.5点	—	—	—	—	0.25点	—	0.25点	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5点	1.0点	6.0点	1.25点	0.5点	1.75点	1.25点	1.25点	1.75点	10点	10点	(c)	7点				
特別簡易型・復旧型		2.0点	1.5点	—	—	—	—	0.25点	—	0.25点	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5点	1.0点	5.0点	0.5点	0.5点	1.75点	1.25点	1.25点	1.75点	or	or						
簡易型・標準型		1.0点	1.0点	1.0点	0.5点	0.5点	0.5点	0.25点	0.25点	0.25点	0.5点	0.5点	1.0点	1.0点	1.0点	0.5点	0.5点	0.5点	1.5点	0.5点	0.5点	0.5点	2.5点	5.0点	2.0点	1.0点	3.5点	2.5点	2.5点	3.5点	10点	24.0			20点	20点		
菅野建設(株)	県内	[福島市]	1.0	-	1.0	0.5	0.5	-	-	-	-	0.5	-	-	-	-	0.5	0.5	0.0	-	0.5	0.5	0.0	2.5	5.0	2.0	0.5	-	2.5	2.5	-	3.0	24.0				7.0	31.0
[]		[]																																				
[]		[]																																				
[]		[]																																				
[]		[]																																				
[]		[]																																				
[]		[]																																				
[]		[]																																				
[]		[]																																				
[]		[]																																				
[]		[]																																				
無効を除く参加者 1者合計			1.0	0.0	1.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	2.5	5.0	2.0	0.5	0.0	2.5	2.5	0.0	3.0	24.0	0.0	0.0	0.0	7.0	31.0
無効を除く参加者 1者平均			1.0	0.0	1.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	2.5	5.0	2.0	0.5	0.0	2.5	2.5	0.0	3.0	24.0	0.0	0.0	0.0	7.0	31.0

※技術提案の採否は、採の場合には「○」、否の場合には「×」と表記すること。 ※落札者以外の加算点は、技術提案書の記載内容のみによる評価であり、資料等により確認したものではない。

※技術提案の採否が否の場合には、「加算点(b)」の欄には/ (斜線) を記入すること。 ※無効の場合は、各点数欄を空白とし、加算点合計((a)+(b))欄に「無効」と記載する。

※契約締結後の公表時には予定価格を記入して公表すること。 ※地域密着型の場合、ボランティア活動及び選択項目については、工事箇所と同一の土木事務所管内の本店及び準本店のみ評価対象。

※「技術者確保数」と「技能士」、「資格保有年数」と「継続教育」、「災害出動実績」と「災害協定締結」は、重複して加算しないこと。先に記載の項目の得点がない場合、後の項目が評価対象となる。

※選択項目については、一般土木工事は舗装工事の場合は①～④から2項目、それ以外の工事の場合は①～③から2項目を選択する。 ※本様式における入札参加者とは、技術提案書等を提出した者とします。

様式第2号附表(第13条関係)

施工計画の適切性に対する評価結果
(簡易型・標準型)

工事種別 建築工事

工事執行権者 議会事務局総務課長

工事番号	23-61010-0001	工事名	福島県議会議場等改修工事		
路線・河川名	本庁舎(県議会議場 外)	工事箇所	福島市杉妻町地内	工事概要	・議場(天井部を除く)改修 約640㎡ ・議会スペース(3階 外)改修 約1,700㎡

入札参加者	施工計画の適切性 配点100点(総合評価方式における加算点配点10点)						合計	総合評価方式における加算点
	様式第9号(その1) 工事の工程表	様式第9号(その2) 各種管理計画、環境配慮、施工上の工夫						
	配点	20						
項目	1 工程計画	1 工程管理計画	2 品質管理計画及び出来形管理計画	3 安全管理計画	4 環境配慮	5 施工上の工夫(環境配慮を除く)		
菅野建設(株)	10	5	10	10	10	0	45	3
—								
—								
—								
—								
—								
—								
—								
—								
—								
—								

※ 施工計画の適切性が不適である場合、不適となった項目の点数欄、合計欄及び総合評価方式における加算点欄に「不適」と記載し、他の項目の点数欄には「*」と記載する。

総合評価方式入札結果

工事種別 建築工事

工事執行権者 議会議務局総務課長

工事番号	23-61010-0001	工事名	福島県議会議場等改修工事		予定価格(円)	349,700,000	工期	730日間	開札予定日	令和5年11月9日		
路線河川名	本庁舎(県議会議場 外)	工事箇所	福島市杉妻町地内	工事の概要	県庁本庁舎の改修(議場(天井部を除く)約640㎡、議会スペース(3階 外)約1,700㎡)						技術審査日	令和5年11月6日

学識経験者の職・氏名		落札者決定基準			落札者の決定		
職業等	氏名	意見の適否	意見聴取月日	落札者決定の際の意見聴取	意見の適否	意見聴取月日	
第4回福島県総合評価委員会議		適	令和 5年 9月 7日	不要		年 月 日	
			年 月 日	要 ・ 不要		年 月 日	

入札参加者	入札参加者の所在地 (契約する本店・支店・営業所)	標準点	加算点	標準点 +加算点 (A)	入札額 (円:税抜き) (B)	評価値算出価格 (円:税抜き) (C)	評価値 (A/C) × 10,000,000	順位	低価格入 札の該当	備 考
菅野建設(株)	福島市	100	31.00	131.00	344,000,000	344,000,000	3.8081	1	-	
入札参加者 1者										

※評価値は少数第5位を切り捨て、少数第4位まで表記する。ただし、表記の値では順位が分からない場合は、順位が分かる桁数で表記する。開札時点で有効の入札参加者は全て順位を記載すること。
 ※契約締結後の公表時には予定価格を記載して公表すること。また、備考欄には、「落札者」「無効(理由も記載すること)」「失格(理由も記載すること)」等を記載すること。
 ※学識経験者の欄が不足する場合は、「別紙のとおり」と記載して会議出席者名簿等を添付すること。
 ※低価格入札の該当欄には、調査基準価格を下回った入札の場合「低価格入札」、調査基準価格を下回らなかった入札の場合「—」を記載すること。

入 札 公 告

条件付一般競争入札を行うので、地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号。以下「施行令」という。)第 167 条の 6 第 1 項及び福島県財務規則(昭和 39 年福島県規則第 17 号)第 246 条第 1 項の規定により公告する。

令和 5 年 9 月 26 日

福島県議会事務局長 山寺 賢一

1 入札に付する事項

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再度公告 <input type="checkbox"/> 改めて公告 (設計、条件等の見直しあり)	<input type="checkbox"/> 再度公告 <input type="checkbox"/> 改めて公告 (設計、条件等の見直しあり)
	<input type="checkbox"/> 前回公告 なし	
工事番号	23-61010-0001	
工事名	福島県議会議場等改修工事	
工事箇所	福島市杉妻町地内	
工事概要	県庁本庁舎 (議場及び議会スペース) の改修 ・ 議場 (天井部を除く) 約 640 m ² ・ 議会スペース (3階 外) 約 1,700 m ²	
完成期限	工期 730 日間	
予定価格	契約締結後に公表する。	
項目	該当の有無	該当する場合の内容説明
起工時期	該当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当の場合、令和 5 年 4 月 1 日以降に起工した工事である。 ・ 該当なしの場合、令和 5 年 3 月 31 日までに起工した工事である。
最低制限価格	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施行令第 167 条の 10 第 2 項に基づき最低制限価格を設定する工事。契約締結後に公表する。
総合評価方式	簡易型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事である。 ・ 落札候補者の決定方法及び総合評価の方法については、入札説明書による。なお、当該入札では評価基準価格を設定する。
低入札価格調査	該当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施行令第 167 条の 10 の 2 第 2 項の規定に基づく低入札価格調査制度適用工事。調査基準価格は、契約締結後に公表する。 ・ 調査基準価格を下回った入札を行った場合は、評価値が最も高い者であっても必ずしも落札者とはならない場合がある。また、低入札価格調査に協力すること。
施工体制事前提出方式	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福島県施工体制事前提出方式の適用工事 ・ 施工体制事前提出方式における失格基準、調査内容及び様式等については、入札説明書による。
電子入札	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子入札の参加には、下記アドレスより事前登録が必要 ・ 電子入札システム (アドレス) http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-98.html
電子閲覧	該当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子閲覧システム (アドレス) http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-96.html
現場代理人の常駐義務の緩和	該当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札者の申請に基づき発注者が認める場合、先行工事の現場代理人をこの工事の現場代理人とすることができる。この場合、発注者は必要な条件を付すことができる。
特例監理技術者の配置	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設業法第 26 条第 3 項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者 (以下、「特例監理技術者」という。) の配置を行うことができる工事である。特例監理技術者の配置を行う場合の要件は、入札説明書による。
再資源化等	該当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成 12 年法律第 104 号)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

混合入札	復興JV以外	該当なし	・単体企業又は特定建設工事共同企業体での参加を認める混合入札
	復興JV	該当なし	・単体企業又は福島県建設工事に係る共同企業体取扱要綱附則第3項で規定する別に定めるものについて(平成23年12月28日付け23財第1971号通知(令和2年1月6日一部改正))における特定建設工事共同企業体の参加を認める混合入札である。
資本関係又は人的関係		該当	資本関係又は人的関係にある企業同士が同一入札へ参加することは認めない。

2 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

入札に参加する者は、次に掲げる条件及び入札説明書に掲げる条件をすべて満たしている者であること。

発注種別	建築工事	<ul style="list-style-type: none"> 開札日が属する年度において有効な福島県工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されていること。
格付等級	A	
許可業種	建築工事業	<ul style="list-style-type: none"> 建設業法(昭和24年法律第100号)の左の欄に表示した業種の許可を受けていること。
地域要件	県内	<ul style="list-style-type: none"> 県内とは、福島県内に本店を有する者であること。 隣接3管内とは、県北建設事務所管内、県中建設事務所管内(郡山市内、田村市内又は田村郡内に限る。)、喜多方建設事務所管内又は相双建設事務所管内に本店又は支店・営業所*を有する者であること。 管内とは、県北建設事務所管内に本店又は支店・営業所*を有する者であること。 <p>* 支店・営業所とは、県内に本店を有する者(県内業者)の支店・営業所であって開札日が属する年度において有効な福島県工事等請負有資格業者名簿に記載された委任先をいう。</p>
技術者の工事経験	必要なし	<ul style="list-style-type: none"> 左の欄に表示した工事経験(配置技術者としての経験)がある監理技術者又は主任技術者を工事現場に専任で配置できる者であること。(ただし、請負金額が4,000万円未満(建築一式工事の場合は8,000万円未満)になる場合は、専任を要しない。) 工事経験とは、現在雇用関係にある企業以外での経験も含め、左の欄に表示した期間に元請(JVの場合は、出資割合が20%以上の構成員である場合に限る。なお、分担施工方式による場合は、分担した工事が左の欄に表示した工事に該当する場合に限る。また、公共工事に限る(発注種別が建築工事、電気設備工事又は暖冷房衛生設備工事であるときを除く。)。ここでいう公共工事とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(実績当時のもの)で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する工事をいう。以下同じ。)の配置技術者として携わった経験をいい、この場合配置技術者としての経験とは、建設業法第26条第1項で規定する主任技術者又は同条第2項で規定する監理技術者としての経験をいう。 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
企業の工事实績	過去15年以内に、延べ面積が1,500㎡かつ階数が	<ul style="list-style-type: none"> 元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績があること。

3階建て以上の建築物（RC造又はSRC造に限る）の大規模改修工事の実績がある者。	
企業の工事規模実績 必要なし	<ul style="list-style-type: none"> 元請として、左の欄に表示した期間に、1件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績（JVの場合は、出資比率に相当する額とする。）があること。 ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は1件とみなす。
JR近接工事 該当なし	<ul style="list-style-type: none"> 該当する場合は、東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できること。 なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者（在来線）資格認定証」を有する者をいう。

3 入札参加手続等

本件入札においては、開札後に入札参加資格の審査を行うため、事前の入札参加申請手続等は要しない。（電子入札対象工事にあつては、電子入札システムにより開札を行うため、入札参加者は当該システムにより入札参加の受付をすること。）

また、設計図書等の質問受付方法、入札書等の提出、落札候補者の公表及び入札結果の公表については、入札説明書による。

なお、設計図書等の閲覧、入札執行などの期間や場所は次に示すとおりとする。

項目	期間又は期日	場所等
設計図書等の閲覧等	令和5年9月26日（火）～ 令和5年10月19日（木）	電子閲覧システム
設計図書等の質問	令和5年9月26日（火）～ 令和5年10月3日（火）	福島市杉妻町2番16号 福島県議会事務局総務課 電話番号 024-521-7606 ファクシミリ 024-521-7965 電子メール gikai.soumu@pref.fukushima.lg.jp
質問の回答予定	令和5年10月10日（火）	福島県議会事務局ホームページ 入札書等の提出前に、必ず本ホームページにて、質問回答の有無を確認すること。
入札書等の提出	郵便局差出期限日 令和5年10月19日（木） 配達日指定期日 令和5年10月24日（火）	入札書のあて先は「福島県」と記載し、提出部数は1部とする。 郵便番号 960-8670 福島市杉妻町2番16号 福島県議会事務局総務課
開札	令和5年11月9日（木） 午前9時30分	開札は公開とする。 福島市杉妻町2番16号 福島県庁本庁舎3階 土木委員会室
落札者の決定予定日	令和5年11月21日（火）	

※ 電子閲覧システムの利用時間は、午前8時から午後10時まで（福島県の休日を定める条例（平成元年福島県条例第7号）第1条第1項に規定する県の休日を除く。以下同じ。）です。

4 入札参加資格要件の審査に関する事項

落札候補者が決定した場合は、開札後速やかに当該落札候補者に電話等確実な方法により通知する。

なお、落札候補者の入札参加資格要件の審査、落札者の決定及び入札参加不適格の通知について

は、入札説明書による。

5 入札保証金及び契約保証金

入札保証金及び契約保証金については、入札説明書による。

6 入札の無効

2の入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札及び福島県工事等競争入札心得等において示す入札に関する条件等に違反した入札は、無効とする。

7 その他

その他詳細は、入札説明書による。また、不明な点は次に示すところに照会すること。

問い合わせ先 福島県議会事務局総務課
電話番号 024-521-7606
ファクシミリ 024-521-7965
電子メール gikai.soumu@pref.fukushima.lg.jp

〈参 考〉 提出する書類一覧表（郵便入札の場合、入札書と一緒に提出する書類一覧表）

提出書類	郵便入札の場合	
	外封筒	中封筒
技術提案書	○	
入札書		○
見積内訳書		○
見積内訳総括表（低入札 価格調査事務処理要領様 式第6号）		○

※ 封筒の外または中に入れる書類を間違えると無効になります。また、入札書で押印を省略する場合、「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先の記載のない入札は無効になります。

留意事項

条件付一般競争入札において、郵送方法の誤りにより無効となった事例が発生しております。

郵送の際は、**一般書留又は簡易書留のいずれかの方法により配達日指定郵便**で行ってください。

また、外封筒を開封する際、誤って中封筒まで開封してしまうのを防ぐため、**中封筒は外封筒よりも小さいものを使用してください。**

〈参考〉 外封筒及び中封筒の貼り付け用紙

(キリトリ線にそって切り取り、外封筒と中封筒の表面に貼り付けてください)

※ **有資格者コード**は、福島県のホームページの福島県建設工事等請負有資格業者名簿のページ (福島県ホームページ:組織でさがす > 入札監理課 > 工事等入札参加資格の申請 > 名簿 又は 「福島県 入札 名簿」で検索) に掲載している開札日が属する年度の工事等請負有資格業者名簿で確認し、記載してください。

キリトリ線

〒960-8670

福島県福島市杉妻町2番16号

福島県議会事務局総務課 行き

入札書等在中

開札日	令和5年11月9日
工事名	福島県議会議場等改修工事
工事番号	23-61010-0001
工事箇所	福島市杉妻町地内
商号又は名称	
有資格者コード※	
担当者名	
連絡先(電話番号)	
連絡先(FAX番号)	

郵便局窓口差出期限日 令和5年10月19日

配達指定期日 令和5年10月24日

キリトリ線

キリトリ線

〒960-8670

福島県福島市杉妻町2番16号

福島県議会事務局総務課 行き

入札書等在中

開札日	令和5年11月9日
工事名	福島県議会議場等改修工事
工事番号	23-61010-0001
工事箇所	福島市杉妻町地内
商号又は名称	
有資格者コード※	
担当者名	
連絡先(電話番号)	
連絡先(FAX番号)	

郵便局窓口差出期限日 令和5年10月19日

配達指定期日 令和5年10月24日

キリトリ線

(別記 2)

総合評価点評価基準(簡易型)

簡易型の評価に関する評価項目及び基準は以下のとおりとし、簡易型における加算点の最高点は47点(発注種別が一般土木工事又は舗装工事の場合は48.5点)とする。

なお、評価基準における基準日は開札日を基本とするが、年度の実績で評価する項目もあるため、技術提案書の作成にあたっては、「総合評価方式様式関係記載留意事項」で各評価項目の評価基準を確認すること。

●特記事項

- 1 工事番号 23-61010-0001
- 2 工事名 福島県議会議場等改修工事
- 3 工事箇所 福島市杉妻町地内

以下の番号(※○)の具体的な内容は、共通事項の番号(※○)に対応している。

番号	評価基準	左記の具体的な内容	
※1	同種・類似工事	RC造またはSRC造で延べ面積(工事部分)が1,500㎡以上の建築物の新築・増改築・大規模改修工事	
※2	施工実績指定金額	2億円	
※3	優良工事表彰部門	一般建築部門又は教育・文化施設部門(土木部)又は維持補修(建築・設備)部門(土木部(建築工事に限る)) ※災害復旧工事部門を含む ※同種・類似工事の指定に限らない	
※4	技能士資格	—	
※5	技術者保有資格	一級建築施工管理技士	
※6	同一市町村内工事実績の対象となる市町村	福島市	
※7		地域要件	県内
※8	入札参加者の所在地等の評価対象		
	入札参加者の所在地	上位点	※6の市町村
		中位点	県北建設事務所管内(保原土木事務所、二本松土木事務所管内を除く)
		下位点	保原土木事務所、二本松土木事務所管内
	消防団への継続加入状況(加入消防団の所在地)	上位点	県北建設事務所管内(保原土木事務所、二本松土木事務所管内を除く)
		下位点	保原土木事務所、二本松土木事務所管内
	ボランティア活動への取り組み、※10～※13	県北建設事務所管内	
※9	指定枚数等	様式9号はその1、その2で各1枚(A4判片面)以内(資料添付不可)	
※10	災害時の出勤実績 又は災害時の応援協定締結	《一般土木工事、舗装工事》 ※10～※13から2項目を選択すること。	
※11	新卒・離職者の雇用実績	《上記以外の工事》	
※12	雇用の維持・確保	※10～※12から2項目を選択すること。	

※13	除雪、維持補修業務の履行実績	注) 選択した2項目のみ記載すること
※14	橋梁、ポンプ等の工場製作を含む工事の評価対象技術者	—
※15	施工計画適切性の評価項目	下記参照

※15 施工計画適切性の評価項目

当該入札案件における施工計画適切性の評価項目は、下記のとおり。

大項目	中項目
様式第9号(その1)	
1 工程計画	(1) 主要工種
	(2) 全体工程
	(3) 施工時期
	(4) 品質・性能確認
様式第9号(その2)	
1 工程管理計画	(1) 工程管理方針
	(2) 工程遅延対策
2 品質管理計画及び出来形管理計画	(3) 現場特性への対応
	(4) 品質管理方針
	(5) 出来形管理方針
	(6) 社内検査方針
3 安全管理計画	(7) 現場の安全管理方針
	(8) 施設利用者の安全確保
	(9) 資機材搬入時の安全確保
4 環境配慮	(10) 施設利用者への配慮
	(11) 周辺環境等への配慮
5 施工上の工夫 (環境配慮を除く)	(12) 居ながら改修に対する工夫
	(13) 内装材再利用に対する工夫

●様式第9号の記載留意事項

様式第9号については、入札参加者の技術力を評価する様式です。
 なお、作成にあたり、第三者（入札参加者以外のコンサル・専門業者等）からの助言を受けること自体は原則に反しないとしますが、技術提案書が他の入札参加者と酷似している等、入札参加者自らが作成していない可能性があるとして発注者が判断した場合、ヒアリングを実施しますので留意願います。

● 共通事項

① 企業の技術力（実績・経験等）に対する評価

評価内容	評価基準	配点	得点
施工能力	過去10年以内に同種・類似工事(※1)において、請負金額が指定金額以上(※2)の施工実績がある場合 ただし、建築工事、電気設備工事及び暖冷房衛生設備工事の場合は過去15年以内とする	1.0点	/1.0
	上記以外	0点	
工事成績 (福島県発注の工事について評価)	過去5年以内(ただし、開札日の属する月の3月前の末日まで)に福島県発注の同種・類似工事(※1)において、工事成績評定が75点以上の施工実績がある場合		/1.0
	・成績評定が85点以上	1.00点	
	・成績評定が80点以上85点未満	0.75点	
	・成績評定が75点以上80点未満	0.50点	
	上記以外	0点	
優良工事表彰 (福島県の優良工事表彰の有無について評価)	過去10年度以内に福島県発注の同種・類似工事(※1)で、指定部門(※3)の優良工事表彰の受賞実績がある場合	1.0点	/1.0
	上記以外	0点	
品質管理能力	入札参加者がISO9001の認証を取得している場合	0.5点	/0.5
	上記以外	0点	
技術者確保数 (当該工事に配置可能な監理技術者又は主任技術者の人員数を評価) *配置可能とは開札日時点で他の工事に配置されていない場合等をいう。(詳細は総合評価方式様式関係記載留意事項を確認のこと。)	当該工事に配置可能*な監理技術者又は主任技術者の人員数が指定人数(簡易型4人、標準型9人)以上の場合	0.5点	/0.5
	当該工事に配置可能*な監理技術者又は主任技術者の人員数が指定人数(簡易型4人、標準型9人)未満の場合で、当該工事に関連する技能士資格(建設関係)のうち(※4)の資格を有する者を当該工事に配置可能な場合(下請業者における技術者が技能士の資格がある場合も可)	0.5点	
	上記以外	0点	
週休2日確保工事	県発注工事において過去1年以内に竣工検査を受けた工事で発注工事と同一の発注種別の週休2日確保工事実施証明書がある場合	0.25点	/0.25
	上記以外	0点	
ICT活用工事 (一般土木工事、舗装工事に限る。)	県発注工事において過去1年以内に竣工検査を受けた工事でICT活用工事実施証明書がある場合	0.25点	/0.25
	上記以外	0点	
建設キャリアアップシステム	建設キャリアアップシステムに企業が登録し、当該現場で運用する場合	0.25点	/0.25
	上記以外	0点	

ふくしまME 資格保有 (一般土木工事、 舗装工事に限る。)	ふくしまME (メンテナンスエキスパート) の認定を受けた技術者が1名以上いる場合	0.25点	/0.25
	上記以外	0点	
小計点①			/4.5 注1

注1：発注種別が一般土木工事又は舗装工事の場合は5.0点

②配置予定技術者の技術力(実績・経験等)に対する評価

評価内容	評価基準	配点	得点
資格の保有年数 又は 継続教育	(※5)の資格を保有して10年以上の経験がある場合	0.5点	/0.5
	上記で得点できない場合で、(※5)の資格を保有して継続教育(CPD)制度に継続参加中である場合	0.5点	
	上記以外	0点	
施工能力	過去10年以内に同種・類似工事(※1)において請負金額が指定金額以上(※2)の工事経験(監理技術者 ^(注1) 、主任技術者又は現場代理人としての経験)がある場合 ただし、建築工事、電気設備工事及び暖冷房衛生設備工事の場合は過去15年以内とする	1.0点	/1.0
	上記以外	0点	
工事成績 (福島県発注の工事について評価)	過去5年以内(ただし、開札日の属する月の3月前の末日まで)に福島県発注の同種・類似工事(※1)において、工事成績点が80点以上の工事経験(監理技術者 ^(注1) 、主任技術者又は現場代理人としての経験)がある場合	1.0点	/1.0
	上記以外	0点	
優良工事表彰 (福島県の優良工事表彰の有無について評価)	過去に福島県発注の同種・類似工事(※1)で、指定部門(※3)において、監理技術者 ^(注1) 、主任技術者又は現場代理人として優良工事表彰の受賞経験がある場合	1.0点	/1.0
	上記以外	0点	
小計点②			/3.5

(注1) 監理技術者には特例監理技術者としての経験を含む。

③企業の地域社会に対する貢献度を評価

評価内容	評価基準	配点	得点
障がい者雇用の実績	法定義務のある企業にあっては、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく法定雇用義務が達成されている場合、法定義務のない企業にあっては障がい者雇用がある場合	0.5点	/0.5
	上記以外	0点	
安全管理	過去10年以内に企業として国及び国が参加している団体が実施する安全管理に関する表彰において受賞実績がある場合	0.5点	

	上記以外	0点	／0.5
環境への配慮	入札参加者がISO14001の認証を取得している場合	0.5点	
	上記以外	0点	／0.5
県内業者の活用	1 県内業者にあつては、当該工事の請負金額の80%以上を県内業者（下請を含む）により施工する場合 2 県外業者にあつては、当該工事の請負金額の50%以上を県内業者（下請を含む）により施工する場合	1.5点	
	上記以外	0点	／1.5
次世代育成支援 （働く女性応援）	福島県次世代育成支援企業認証制度による「働く女性応援」の認証を取得している場合	0.5点	
	上記以外	0点	／0.5
次世代育成支援 （仕事と生活の調和）	福島県次世代育成支援企業認証制度による「仕事と生活の調和」の認証を取得している場合	0.5点	
	上記以外	0点	／0.5
新分野進出	平成13年4月1日以降に建設業以外の分野へ進出し、企業としての経営基盤強化に取り組んでいる場合	0.5点	
	上記以外	0点	／0.5
健康経営優良事業所	ふくしま健康経営優良事業所に認定されている場合	0.5点	
	上記以外	0点	／0.5
若手・女性技術者の配置	配置予定技術者に若手・女性技術者を配置する場合 ・40歳未満の男性技術者又は全ての女性技術者	0.50点	
	現場代理人に若手・女性技術者を配置する場合 ・40歳未満の男性技術者又は全ての女性技術者	0.25点	
	上記以外	0点	／0.5
同一市町村内の工 事実績	(1) 一般土木工事又は舗装工事の場合 過去3年以内に（※6）市町村内において、公共工事の工事実績がある場合（一般土木工事又は舗装工事の工事実績に限る）		
	・3件以上	2.5点	
	・2件	1.5点	
	上記以外	0点	／2.5
	(2) 上記以外の発注種別の場合 過去10年以内に（※6）市町村内において、公共工事の工事実績がある場合（同一発注種別の工事実績に限る）		

	・ 1 件	2.5 点	／2.5
	上記以外	0 点	
入札参加者の所在地	入札参加業者の本店、準本店又は支店等（以下「本店等」という。）の所在地が、下記管内にある場合	(注3)	／5.0
	・ (※8 上位点) の市町村 (注1, 2)	本店 5.0 点 準本店 4.0 点 支店等 3.0 点	
	・ (※8 中位点) の管内 (注1)	本店 3.0 点 準本店 2.0 点 支店等 1.5 点	
	・ (※8 下位点) の管内 (注1)	本店 2.0 点 準本店 1.0 点 支店等 0.5 点	
	上記以外	0 点	
ボランティア活動への取組み状況	(※8) 管内に本店等がある企業が、当該管内で過去3年間以上継続してボランティア活動の実績がある場合	2.0 点	／2.0
	上記以外	0 点	
消防団への継続加入状況	下記管内の消防団に、過去1年間以上継続加入している者を1名以上雇用している場合		／1.0
	・ (※8 上位点) の管内	1.0 点	
	・ (※8 下位点) の管内	0.5 点	
	上記以外	0 点	

(注1) 開札日時時点で建設業法の許可を受けてから3年を経過している支店等を有する場合は、配点が高い方で評価。(委任の有無は問わない。)

(注2) 工事箇所が南会津町又は北塩原村の場合、「入札参加者の所在地」における同一市町村内の評価対象は工事箇所と同一土木事務所管内の場合に限る。工事箇所がいわき市の場合、いわき建設事務所管内の企業は上位点(同一市町村内)で評価する。

(注3) 上段は本店の配点、中段は準本店の配点、下段は準本店に該当しない支店等の配点。なお、本店・準本店・支店等については、「地域要件毎の評価対象」を参照。

評価内容	評価基準	配点	得点
(※10) 災害時の出動実績 又は 災害時の応援協定締結	(※8) 管内に本店等がある企業が、当該管内で下記に該当する場合		／3.5
	(1) 県管理施設の実績の場合		
	・ 過去3年以内の災害時出動実績かつ災害応援協定締結がある場合	3.5 点	
	・ 過去3年以内に災害時出動実績がある場合	3.0 点	
	・ 災害応援協定締結がある場合	2.0 点	
	(2) 国、市町村管理施設の実績の場合		
	・ 過去3年以内の災害時出動実績かつ災害応援協定締結がある場合	3.0 点	
	・ 過去3年以内に災害時出動実績がある場合	2.5 点	
・ 災害応援協定締結がある場合	1.5 点		
上記以外	0 点		

(※11) 新卒者・離職者の 雇用実績	(※8) 管内に本店等がある企業が、当該管内で下記に該当する場合		
	・過去1年以内に新卒者又は離職者を2名以上雇用（正規雇用）している		
	・東日本大震災による被災者等を1名以上雇用（正規雇用）している	2.5点	
	・過去1年以内に新卒者又は離職者を1名雇用（正規雇用）している	1.5点	
	上記以外	0点	／2.5
(※12) 雇用の維持・確保	(※8) 管内に本店等がある企業が、下記に該当する場合		
	・当該管内における従業員数（正規雇用）が1年前より増えている		
	・東日本大震災による被災者等を1名以上雇用（正規雇用）している企業又は被災、避難企業と当該工事において下請契約を行う	2.5点	
	・当該管内における従業員数（正規雇用）が1年前と同じ	1.5点	
	上記以外	0点	／2.5
(※13) 除雪、維持補修業務の履行実績 (一般土木工事、舗装工事に限る。)	(※8) 管内に本店等がある企業が、当該管内で下記に該当する場合		
	(1) 県管理施設の実績の場合		
	・過去5年度以内に福島県道路除雪表彰事業により企業として感謝状の贈呈を受けたことがある		
	・直前の5年度間連続して県が発注する除雪業務委託と維持補修業務委託の両方の履行実績がある	3.5点	
	・過去3年以内に県が発注する除雪業務委託又は維持補修業務委託を履行した実績がある場合	2.0点	
	(2) 国、市町村管理施設の実績の場合		
	・直前の5年度間連続して国、市町村のいずれかが発注する除雪業務委託と維持補修業務委託の両方の履行実績がある	3.0点	
・過去3年以内に国、市町村のいずれかが発注する除雪業務委託又は維持補修業務委託を履行した実績がある場合	1.5点		
	上記以外	0点	／3.5
小計点③			／22.0 注1

注1：発注種別が一般土木工事又は舗装工事の場合は23.0点

●地域要件毎の評価対象

<支店等>とは

県内に本店を有する企業（県内企業）の支店・営業所であって、開札日時点で有効な福島県工事等請負有資格業者名簿に記載された委任先をいう。そのため、「入札参加者

の所在地」、「ボランティア活動への取組み」、「消防団への継続加入」、「災害時の出動実績又は災害時の応援協定締結」、「新卒・離職者の雇用実績」、「雇用の維持・確保」、「除雪・維持補修業務の履行実績」については、県外に本店を有する企業は評価の対象とならない。

<準本店>とは

支店等のうち、地域要件ごとの評価対象地域において、過去3年以内に国・県・市町村のいずれかが発注した除雪・維持補修業務等の履行実績があるものをいいます。

<委任なし支店等>とは

建設業法の許可を受けているが、委任していない支店・営業所(県内企業)。

●除雪・維持補修業務について

準本店の要件及び(※13)における除雪・維持補修業務の対象施設と業務内容については次のとおり。

【対象施設】

国、県、市町村が管理し、以下の①～③に該当する施設。

①不特定多数の人が利用する公共施設

(例：道路、水道施設、行政庁舎・警察庁舎、公園等)

②県民の安全・安心を確保する施設

(例：河川、海岸、砂防設備、林地荒廃防止施設、地すべり防止施設等)

③その他公共の用に供する施設(例：学校、公営住宅等)

○職員公舎や資材倉庫など直接県民の安全・安心に関わらない施設は対象外とする。

【業務内容】

①除雪業務

冬期間を通じて、国、県、市町村と除雪又は融雪剤散布の契約をした者。

②維持補修業務

年間を通じて、国、県、市町村と維持補修の契約をした者又は、自然災害や水道管破裂など突発的な事象に対して緊急対応を行った者。

i) 入札参加者の所在地

上位点

(加算点が5.0点(本店)、4.0点(準本店)又は3.0点(本店・準本店以外)となる場合)

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等・委任なし支店等) (注1、2)
管内	同一市町村内 (注3)
隣接3管内	
県内	
全国	

(注1) 入札参加者とは別に、委任なし支店等を有する場合は、配点が高い方で評価。

(注2) 評価する支店等は、開札日時点で建設業法の許可を受けてから3年を経過している支店等とする。

ただし、建設業法の許可を受け3年を経過している本店や支店等が企業合併により支店等になった場合はこの限りでない。

(注3) 工事箇所が南会津町又は北塩原村の場合、同一市町村内の評価対象は工事箇所と同一土木事務所管内の場合に限る。工事箇所がいわき市の場合、いわき市の企業は上位点(同一市町村内)で評価する。

中位点

(加算点が3.0点(本店)、2.0点(準本店)又は1.5点(本店・準本店以外)となる場合)

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等・委任なし支店等) (注1、2)
管内	土木事務所管内
隣接3管内	
県内	
全国	

下位点

(加算点が2.0点(本店)、1.0点(準本店)又は0.5点(本店・準本店以外)となる場合)

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等・委任なし支店等) (注1、2)
管内	—
隣接3管内	建設事務所管内
県内	
全国	県内

ii) ボランティア活動への取組み

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等)	評価対象となるボランティア活動を行った場所	評価対象となる期間と実績件数
管内	土木事務所管内(注4)		過去3年間以上継続して1件以上
隣接3管内	建設事務所管内		
県内			
全国	県内		

(注4) 工事箇所がいわき市の場合、建設事務所管内とする。

iii) 消防団への継続加入

上位点(加算点が1.0点となる場合)

地域要件	評価対象となる加入消防団の所在地	評価対象となる期間
管内	土木事務所管内 (注4)	過去1年以上継続雇用している社員が 過去1年以上継続して消防団員である
隣接3管内		
県内		
全国	県内	

下位点(加算点が0.5点となる場合)

地域要件	評価対象となる加入消防団の所在地	評価対象となる期間
管内	建設事務所管内 (注5)	過去1年以上継続雇用している社員が 過去1年以上継続して消防団員である
隣接3管内		
県内		
全国	—	

(注5) 工事箇所がいわき市の場合、該当なし。

iv) 災害時の出勤実績又は災害時の応援協定締結

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等) (注6)	災害時出勤実績 又は 災害応援協定締結	配点(注7)		
			災害応援協定締結がある場合	過去3年以内に災害時出勤実績がある場合	過去3年以内の災害時出勤実績かつ災害応援協定締結がある場合
管内	土木事務所管内(注4)		2.0点 1.5点	3.0点 2.5点	3.5点 3.0点
隣接3管内	建設事務所管内				
県内					
全国		県内			

(注6) 災害応援協定締結は、本店・準本店のみが評価対象。

(注7) 配点欄 上段：県管理施設の実績の場合

下段：国、市町村管理施設の実績の場合

v) 新卒・離職者の雇用実績

(新卒・離職者の評価基準)

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等)	評価の対象となる新卒・離職者の勤務地	評価対象期間	雇用人数に対する配点	
				1名	2名以上
管内	土木事務所管内(注4)		過去1年以内	1.5点	2.5点
隣接3管内	建設事務所管内				
県内					
全国		県内			

(東日本大震災による被災者等の雇用実績の評価基準)

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等)	評価対象期間	雇用人数に対する配点
			1名以上
管内	土木事務所管内(注4)	平成23年3月11日以降の雇用実績	2.5点
隣接3管内	建設事務所管内		
県内			
全国			

vi) 雇用の維持・確保

(雇用人数による評価基準)

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等)	評価の対象となる従業員の勤務地	評価対象となる月日	雇用人数に対する配点	
				同数	増加
管内	土木事務所管内(注4)		開札日における1年前との比較	1.5点	2.5点
隣接3管内	建設事務所管内				
県内					
全国		県内			

(東日本大震災に伴う被災者等の雇用維持の評価基準)

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等)	配点
管内	土木事務所管内(注4)	2.5点
隣接3管内	建設事務所管内	
県内		
全国		

vii) 除雪・維持補修業務の履行実績

地域要件	評価対象となる入札参加者の所在地 (本店・準本店・支店等)	除雪・維持補修業務の実績	配点(注7)		
			過去3年以内に1件以上の履行実績がある場合	過去5年度以内に福島県道路除雪表彰事業により企業として感謝状を受けた場合	直前の5年度間連続して除雪業務委託と維持補修業務の両方の履行実績がある場合
管内	土木事務所管内(注4)		2.0点 1.5点	3.5点 —	3.5点 3.0点
隣接3管内	建設事務所管内				
県内					
全国					

④ 施工計画の適切性に対する評価

評価内容	評価基準	配点	得点
施工計画評価 (提出された技術審査書の内容を評価)	技術審査書の点数が93点以上の場合	10点	/10.0
	技術審査書の点数が86点以上93点未満の場合	9点	
	技術審査書の点数が79点以上86点未満の場合	8点	
	技術審査書の点数が72点以上79点未満の場合	7点	
	技術審査書の点数が65点以上72点未満の場合	6点	
	技術審査書の点数が58点以上65点未満の場合	5点	
	技術審査書の点数が51点以上58点未満の場合	4点	
	技術審査書の点数が44点以上51点未満の場合	3点	
	技術審査書の点数が37点以上44点未満の場合	2点	
	技術審査書の点数が30点以上37点未満の場合	1点	
技術審査書の点数が0点以上30点未満の場合	0点		
小計点④			/10.0

⑤ 品質確保等の確実性

評価基準	配点
低入札調査基準価格以上で応札した場合	7.0点

合計点	小計①～⑤の合計	/47.0 注1
-----	----------	-------------

注1：発注種別が一般土木工事又は舗装工事の場合は48.5点